

会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石井 茂
 (コード番号：8729 東証第一部)

**2020年3月期第3四半期連結累計期間の決算速報ならびに
 通期連結業績予想および配当予想の修正のお知らせ**

1. 2020年3月期第3四半期連結累計期間 決算速報値

当社の親会社であるソニー株式会社は、本日、米国会計原則に基づく2019年度第3四半期(2019年10月1日～12月31日)の連結決算発表を行う予定ですが、その中で当社グループについて、ソニーグループの金融分野として米国会計原則に基づく財務情報が開示される予定です。

当社および当社グループの日本会計基準に基づく決算手続きは未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、日本会計基準に基づく当社の2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)の決算速報をお知らせいたします。

なお、当社の2020年3月期第3四半期連結累計期間の決算発表は2020年2月13日を予定しています。

(1) 2020年3月期第3四半期連結累計期間 決算速報値

	2019年3月期第3四半期連結累計期間(実績) (2018年4月1日～12月31日)	2020年3月期第3四半期連結累計期間(速報) (2019年4月1日～12月31日)
経常収益	1兆1,293億円	1兆4,260億円
経常利益	740億円	812億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	504億円	548億円
1株当たり 四半期純利益	116.06円	126.17円

【参考】2020年3月期第3四半期末：自己資本※ 6,759億円、総資産 14兆5,383億円

※ 自己資本は、純資産合計額から、新株予約権および非支配株主持分を控除した金額を表示しています。

(注) 経常収益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の各欄に記載の金額は、億円単位未満を切り捨てて表示しています。

(2) 連結業績変動の主たる要因

2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)の経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加した結果、1兆4,260億円(前年同期比26.3%増)となりました。経常利益も、上記すべての事業において増加した結果、812億円(前年同期比9.7%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことにより、548億円(前年同期比8.7%増)となりました。

事業別の経常収益および経常利益の速報値は、次のとおりです。

	2019年3月期 第3四半期連結累計期間(実績) (2018年4月1日～12月31日)	2020年3月期 第3四半期連結累計期間(速報) (2019年4月1日～12月31日)
経常収益	1兆1,293億円	1兆4,260億円
生命保険事業	1兆66億円	1兆2,951億円
損害保険事業	862億円	905億円
銀行事業	337億円	367億円
経常利益	740億円	812億円
生命保険事業	601億円	662億円
損害保険事業	73億円	76億円
銀行事業	70億円	81億円

生命保険事業：経常収益は、特別勘定における運用損益の改善および一時払保険を主とする保険料等収入の増加により、1兆2,951億円(前年同期比28.7%増)となりました。経常利益は、一般勘定におけるその他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の悪化、事業費の増加や変額保険の市場変動などにもなう損益*の悪化があったものの、新契約高が減少したことによる新契約獲得にかかる費用の減少、および保有契約高の拡大による利益の増加などにより、662億円(前年同期比10.2%増)となりました。

* 変額保険の市場変動などにもなう最低保証に係る責任準備金の繰入額およびヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の合計金額です。

損害保険事業：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことなどにより、905億円(前年同期比4.9%増)、経常利益は損害率が上昇したものの、異常危険準備金の取崩しなどにより76億円(前年同期比2.9%増)となりました。

銀行事業：住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息などの増加や、有価証券利息の増加により、経常収益は367億円(前年同期比8.8%増)、経常利益は81億円(前年同期比15.7%増)となりました。

2. 通期連結業績予想および配当予想の修正

2019年4月26日に公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の当社の連結業績予想および配当予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

(1) 2020年3月期 連結業績予想および配当予想の修正

	前回発表予想(A)	今回発表予想(B)	増減額 (B-A)	増減率	(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)
経常収益	1兆6,900億円	1兆8,600億円	1,700億円	10.1%	1兆6,291億円
経常利益	980億円	1,030億円	50億円	5.1%	938億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	650億円	680億円	30億円	4.6%	620億円
1株当たり 当期純利益	149.42円	156.31円			142.69円
1株当たり 配当金	65.0円	70.0円	5.0円		62.5円

(注) 経常収益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の各欄に記載の金額は、億円単位未満を切り捨てて表示しています。

(2) 連結業績予想修正の理由

経常収益は、生命保険事業において、当第3四半期連結累計期間の特別勘定における運用益および一時払保険を主とする保険料等収入が、それぞれ期初想定を上回って推移したことにより、上方修正します。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において、当第3四半期累計期間の実績が期初想定を上回って推移したことにより、上方修正します。生命保険事業の実績は、一般勘定におけるその他有価証券に係る減損損失の計上や、変額保険の市場変動などにもなう損益の悪化があったものの、新契約獲得にかかる費用が期初想定を下回ったことなどにより、期初想定を上回りました。

(3) 配当予想修正の理由

当社は、グループ各社における健全性と成長分野への投資のための適切な内部留保を確保した上で、安定的な配当の実施を基本方針とし、中長期の収益拡大に応じて配当の安定的な増加を目指します。中長期の収益拡大については、法定会計上の利益のみならず、生命保険事業の成長実態により近い、経済価値ベースの利益指標をより重視した上で、総合的に判断し、配当額を決定いたします。

上記の中期配当方針を踏まえ、事業環境や業容成長などを勘案した結果、2020年3月期の期末配当予想を2019年4月26日に公表した1株当たり65円から70円に修正いたします。

なお、今後の配当額については連結修正ROEの分子である連結修正利益の30%程度を目安にいたします。

また、当社は本日、「【参考開示】米国会計原則に基づく主要業績数値」を当社ホームページに公表しておりますので、あわせてご覧ください。

当社ホームページ URL : https://www.sonyfh.co.jp/ja/financial_info/results/sfh_fy2019_3q_02.pdf

上記の2020年3月期第3四半期連結累計期間の決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2020年2月13日に発表を予定しております2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)の決算数値は、様々な要因により、本速報値と大きく異なる可能性があります。

当社の連結業績[※]は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※ 当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連 結 : ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
ソニー生命保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
ソニー銀行株式会社
ソニーペイメントサービス株式会社
SmartLink Network Hong Kong Limited
SmartLink Network Europe B.V.*¹
ソニー・ライフケア株式会社
ライフケアデザイン株式会社
プラウドライフ株式会社
ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社*¹
SFV・GB投資事業有限責任組合*¹
持分法適用 : ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社*²
SA Reinsurance Ltd.*²

*¹ ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社が2019年3月期第2四半期連結会計期間より、SFV・GB投資事業有限責任組合が2019年3月期第4四半期連結会計期間より、SmartLink Network Europe B.V.が2020年3月期第2四半期連結会計期間より、それぞれ新たに連結範囲に含まれております。

*² 2020年1月29日、ソニー生命保険株式会社がソニーライフ・エイゴン生命株式会社およびSA Reinsurance Ltd.の株式を取得し、両社は当社およびソニー生命株式会社の完全子会社となりました。

また、ソニー株式会社は2020年2月4日に2019年度第3四半期(2019年10月1日～12月31日)の業績を発表する予定です。

注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しだけに全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

以 上

(お問い合わせ先)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部

電話 (03) 5290-6500 (代表)

E-mail : press@sonyfh.co.jp

(ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社のホームページ)

<https://www.sonyfh.co.jp/>